

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋木材株式会社
 コード番号 7903 URL <http://www.meimoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

(氏名) 丹羽 耕太郎
 (氏名) 細江 太喜雄

TEL 052-321-1526

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,618	△16.5	△40	—	△36	—	5	0.3
26年3月期第3四半期	4,333	20.3	17	—	6	—	5	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 17百万円 (△69.9%) 26年3月期第3四半期 58百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	14.51	—
26年3月期第3四半期	14.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	6,413	1,837	28.6	5,043.86
26年3月期	6,568	1,830	27.9	5,025.62

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,837百万円 26年3月期 1,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	30.00	30.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,200	△12.2	15	△71.0	10	△74.1	20	△17.6	54.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	400,000 株	26年3月期	400,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	35,793 株	26年3月期	35,793 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	364,207 株	26年3月期3Q	364,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)における日本の経済情勢は、政府の各種経済政策により円安が進み、輸出産業の活況が期待されたものの、工場の海外移転が進み円安の効果は期待薄となった一方、輸入商品・材料の多くが値上げとなったことにより消費の先行き不透明感が増す状況となっております。

住宅市場におきましては、新規住宅着工件数の落ち込みの影響が大きく、円安による輸入材の値上げがさらに追い打ちをかける状況が続いております。

東海3県下の新規住宅着工件数においては、総着工件数は前年度比16.1%の減少、戸建住宅は24.7%の減少となり、消費税増税後の反動を長く引きずり厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、メーカーとのタイアップによるキャンペーンを行うなど、得意先へ積極的な販売活動に努めてまいりましたが、例年に見られる秋需要による売上増加が見られず、当初見込みを大きく割り込む結果となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高合計は3,618百万円(前年同期比715百万円減、16.5%減)となりました。利益面につきましては、仕入価格高騰による粗利率の減少や、売上高減少の影響から売上総利益額が減少したことから、営業損失は40百万円(前年実績は17百万円の営業利益)、経常損失は36百万円(前年実績は6百万円の経常利益)、四半期純利益は5百万円(前年同期比0百万円増、0.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 営業本部

営業本部におきましては、メーカーとのタイアップによるキャンペーンを行い販売促進の強化に努め秋需の取り込みを進めて参りました。

商品別に見ると住設関連で売上を伸ばす事が出来ましたが、それ以上に木材関連の落ち込みが激しく、主力営業部門で当初見込みを割り込む結果となりました。

その結果、売上高は2,846百万円(前年同期比628百万円減、18.1%減)となり、セグメント損失は68百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

2) 市場本部

市場本部におきましては、注文住宅、分譲住宅の販売・開発に努めて参りました。名古屋市守山区と岐阜県瑞穂市の既存分譲住宅においては、販売5棟、契約1棟を得ることができました。また、新規分譲の用地確保とその開発計画を進めて参りました。その結果、売上高は447百万円(前年同期比18百万円増、4.2%増)となり、セグメント損失は91百万円(前年同期はセグメント損失91百万円)となりました。

3) 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸物件においては安定的な収入を継続して確保しております。また、連結子会社の株式会社三重ナゴヤホームズの分譲マンションの販売は全室契約が完了し、新規分譲の計画・用地検討を進めて参りました。その結果、売上高は344百万円(前年同期比121百万円減、26.0%減)となり、セグメント利益は141百万円(前年同期比12百万円減、7.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(平成26年12月31日現在)の当社グループの財政状態は、売掛金の回収が進み、売上債権が前連結会計年度末に比較して158百万円の減少となりました。また、たな卸資産は分譲住宅や分譲マンションの販売が進展して前連結会計年度末に比較して211百万円減少し、仕入債務は前連結会計年度末に比較して301百万円の減少となりました。

有形固定資産は設備投資等が少なく、減価償却の進行によって前連結会計年度末に比較して22百万円の減少となりました。

借入金残高は前連結会計年度末に比較して180百万円増加しました。

以上の結果から、自己資本比率は前連結会計年度末に比較して0.7ポイント増加の28.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,012	930,398
受取手形及び売掛金	1,006,672	848,517
たな卸資産	1,073,874	862,489
その他	29,055	28,352
貸倒引当金	△5,600	△3,900
流動資産合計	2,818,015	2,665,857
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,561,610	2,561,610
その他(純額)	512,080	489,773
有形固定資産合計	3,073,691	3,051,384
無形固定資産	2,403	2,199
投資その他の資産		
投資有価証券	567,242	580,324
その他	146,257	148,995
貸倒引当金	△39,261	△35,311
投資その他の資産合計	674,238	694,008
固定資産合計	3,750,332	3,747,592
資産合計	6,568,348	6,413,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,289,184	987,319
短期借入金	640,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	877,420	764,320
未払法人税等	3,047	1,316
賞与引当金	15,000	7,500
その他	119,658	87,670
流動負債合計	2,944,310	2,578,125
固定負債		
長期借入金	889,300	1,092,560
繰延税金負債	631,817	634,498
役員退職慰労引当金	7,150	7,150
退職給付に係る負債	106,118	110,664
受入保証金	128,565	128,703
その他	30,721	24,740
固定負債合計	1,793,672	1,998,315
負債合計	4,737,983	4,576,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	6,567	6,567
利益剰余金	1,544,169	1,538,528
自己株式	△107,743	△107,743
株主資本合計	1,642,994	1,637,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,370	199,655
その他の包括利益累計額合計	187,370	199,655
純資産合計	1,830,364	1,837,008
負債純資産合計	6,568,348	6,413,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,333,898	3,618,108
売上原価	3,662,551	3,078,484
売上総利益	671,347	539,623
販売費及び一般管理費	653,846	580,549
営業利益又は営業損失(△)	17,500	△40,925
営業外収益		
受取利息	132	87
受取配当金	14,928	16,650
仕入割引	10,768	9,416
その他	5,829	9,779
営業外収益合計	31,659	35,934
営業外費用		
支払利息	34,551	24,285
売上割引	8,145	7,272
その他	21	6
営業外費用合計	42,718	31,565
経常利益又は経常損失(△)	6,441	△36,556
特別利益		
投資有価証券売却益	—	48,831
特別利益合計	—	48,831
特別損失		
固定資産処分損	123	—
リース解約損	1,677	—
特別損失合計	1,800	—
税金等調整前四半期純利益	4,640	12,274
法人税等	△628	6,989
少数株主損益調整前四半期純利益	5,269	5,284
四半期純利益	5,269	5,284

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,269	5,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,079	12,285
その他の包括利益合計	53,079	12,285
四半期包括利益	58,349	17,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,349	17,570
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,461,118	406,962	465,817	4,333,898
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,899	22,156	60	36,116
計	3,475,017	429,119	465,877	4,370,015
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△29,855	△91,833	153,520	31,832

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,832
セグメント間取引消去	1,394
全社費用(注)	△26,785
四半期連結損益計算書の経常利益	6,441

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,834,149	439,434	344,525	3,618,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,724	7,882	209	20,816
計	2,846,873	447,317	344,734	3,638,924
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△68,585	△91,586	141,375	△18,797

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△18,797
セグメント間取引消去	1,313
全社費用（注）	△19,072
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△36,556

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。